

第18期 中間ビジネスレポート BUSINESS REPORT

2026年12月期 2026年1月1日～2026年6月30日

社名の由来

「ブロードリーフ (Broadleaf)」とは、広葉樹のことです。

広葉樹の多くは春から夏にかけて葉に日差しを受けて成長し、冬には葉と実を落として土に養分を返します。その循環がさまざまな動植物と共生できるフィールドを育むのです。

ビジネスの大地に一本の広葉樹として根をおろし、葉を茂らせ、実をつけ、お客さまをはじめとするすべての人々とともに未来へと成長を続けたい。ブロードリーフという名にはそのような気持ちが込められています。

企業理念 感謝と喜び

「感謝と喜び」の心を根元に、幅広い業種・業界に特化した、より良い商品・サービス、付加価値の高いデータを提供することにより、お客さまの事業創造に貢献いたします。

ブロードリーフは、「感謝と喜び」という人や企業が深く結びつくために欠かせない“心”を大切に、お客さまとともに繁栄するビジネスを進めています。私たちの商品やサービスがお客さまの事業に貢献する時、お客さまに「ブロードリーフとつきあって、よかった」と感じていただけるでしょう。そして事業が日々成長する実感に喜びが生まれることでしょう。

そのようなお客さまの心を受けて私たちにも「感謝と喜び」が生まれ、より良い商品やサービス、社会への価値提供につながっていきます。

モビリティ産業を2DX^{*1}で支えるデジタルインフラ企業



ブロードリーフは何をしている会社？

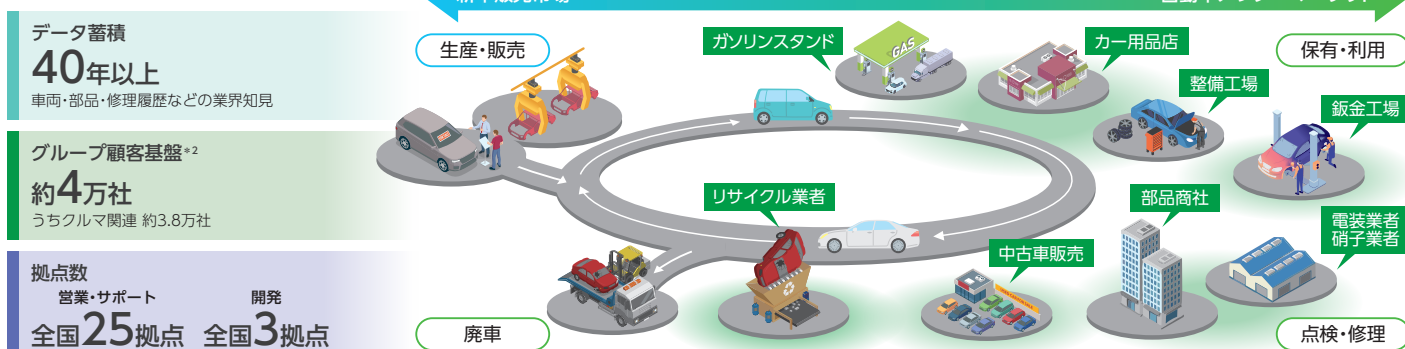
自動車整備、钣金、部品商、中古車販売など、分業化されたモビリティ産業のアフターマーケット向けに、独自開発の業務アプリケーションを軸に、DXを支援するクラウドサービスを展開しています。長年蓄積してきた独自保有データをフィジカルAIなどの先端技術と融合し、次世代クラウドサービスへの進化を目指しています。

- *1 Digital TransformationとData Exchangerを表す標語で、ブロードリーフの登録商標
*2 自動車補修部品の売り手と買い手をつなぎ、部品の検索、見積、受発注などを電子化する仕組み
*3 [Broadleaf Cloud Platform]上で稼働する、自動車アフターマーケット事業者向けクラウドサービスの総称

ブロードリーフの事業領域

ブロードリーフは、データベースを元に業種特化型ソフトウェアサービスとプラットフォームサービスを提供し、自動車アフターマーケット^{*1}のお客さまの業務効率向上と事業成長を支援しています。

数字で見るブロードリーフ



*1 自動車アフターマーケットとは、自動車の購入後に生じる、給油、用品の購入、車検・点検、整備・修理、部品交換、中古車流通、リサイクル・廃車などの市場を指します。自動車を安全に長く使用するうえで、点検・整備や部品交換は重要な役割を担っています。

*2 当社調べ

ご挨拶と業績について



代表取締役社長
大山 堅司

株主の皆さまへ

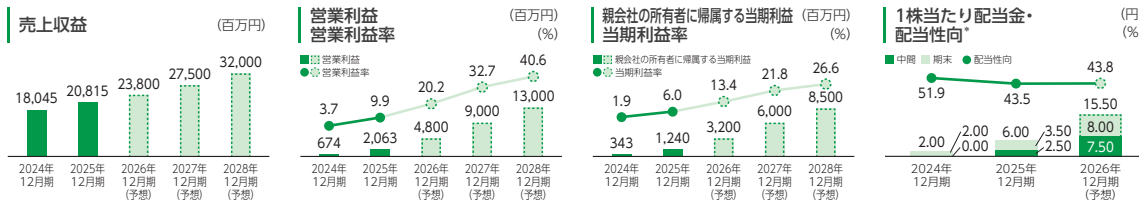
株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ブロードリーフグループ(以下、当社グループ)は、2005年の創業以来、「感謝と喜び」の心を根本に置き、商品・サービスおよび付加価値の高いデータの提供を通じて、お客さまの事業創造に貢献すべく尽力してまいりました。

当中間期(2026年1月1日～2026年6月30日)におきましては、中期経営計画の重点施策である「クラウドの浸透」が着実に進展し、通期業績計画の達成に向けて順調な進捗となりました。既存のお客さまを中心としたクラウド移行が計画どおりに進んだことに加え、非モビリティ産業向けのパッケージソフトやパソコン販売も堅調に推移しました。これらの取り組みが実を結び、当中間期の連結業績は、売上収益107億81百万円(前年同期比+9.8%)、営業利益14億77百万円(前年同期比+91.5%)、親会社の所有者に帰属する中間利益10億1百万円(前年同期比+140.3%)と、増収増益となりました。

今年度は、創業以来の最高益となる営業利益48億円の達成を目指す勝負の年であります。下期におきましても当社グループ一丸となって各種施策を完遂し、持続的な成長に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年9月



※2026年12月期予想は2026年8月12日公表値、2027年12月期および2028年12月期予想は2026年2月12日公表値です。

* 2026年7月1日を効力発生日として1株につき2株の株式分割を実施。2026年12月期の中間配当7.50円は分割前の実績、期末配当予想4.00円は分割後の金額。グラフでは比較のため、期末配当予想を分割前換算の8.00円、年間配当予想を15.50円として表示

事業トピックス

伊藤忠商事らが出資するWECARSにブロードリーフのクラウドソフト『Maintenance.c』を提供開始

株式会社ブロードリーフは、伊藤忠商事株式会社らが出資する株式会社WECARSに対し、全国の整備拠点における車検業務の透明性と適正性の確保に向け、自動車整備業向けクラウドソフト『Maintenance.c(メンテナンスドットシー)』の提供を開始いたしました。

商品ページ URL: <https://sfc.blcloud.jp/pr/product/maintenance.html>

本件の背景と目的

2024年3月に国土交通省より「車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン」*1 が公表されたことにより、自動車整備業界全体において、業務の透明性向上と監査体制の強化が求められています。

WECARSでは、整備内容の可視化や作業記録の電磁的保存を通じたコンプライアンス強化に取り組まれています。このたびのブロードリーフのクラウドソフト『Maintenance.c』の導入は、これらをより確実に実現するための基盤となります。

ブロードリーフは長年、自動車整備業をはじめ、モビリティ産業のIT化

を支援しており、関連する法令や制度に関する深い知見を有しております。2023年にはブロードリーフが保有する自動車の車種情報や、部品情報、整備履歴等の知識データベースと独自開発の大規模言語モデルをもとに、当社のクラウドサービスを通じて行うさまざまな業務における異常および不正を検知する機能*2 を開発しました。

このたび、中立的なIT事業者の立場からWECARSに『Maintenance.c』を提供し、内製システムだけでは実現が難しい「第三者視点による運用基準の担保」や「客観性のある業務統制」に寄与することで、WECARSの信頼性向上を技術面から強力にサポートします。

*1 国土交通省 報道発表資料(2024年3月29日)

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001734259.pdf>

*2 ブロードリーフ プレスリリース「当社クラウドサービス上で行われる各種業務において異常および不正を検知する機能を開発」

https://www.broadleaf.co.jp/company/press/press_detail/?itemid=293&dispmid=1002

サステナビリティトピックス



広島県に
「ブロードリーフの森」を創設

BroadLeaf Group

創業20周年を記念し、新たな「ブロードリーフの森」づくりを開始

2026年5月、広島県三原市で全社員参加の植樹活動を実施し、広葉樹を中心に27種、計2,700本の苗木を植樹しました。本活動は、2008年から推進する「GrowLeafプロジェクト」の新たな取り組みです。

▶ GrowLeafプロジェクトとは

GrowLeafプロジェクトは、ブロードリーフが2008年より推進している企業参画型の環境保全活動です。お客さまやお取引先さまなど、本プロジェクトの趣旨にご賛同いただいた会員企業の皆さまとともに、植樹活動や森林保全活動、地域に根ざした環境貢献活動を継続してまいりました。

● 関連情報



環境貢献賞を受賞



夏休み自由研究プロジェクト

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

株主アンケートにご協力ください

抽選でギフト券を進呈!

サービス運営会社: 株式会社プロネクサス
お問い合わせ: コエキク事務局 ☒ koekiku@pronexus.co.jp